

町振興のために



小野町商工会女性部の皆さん

12月5日、小野町商工会女性部（村上民代部長）の方々より町振興のために寄付いただきました。
これは、10月29日、30日に実施した、小野町50周年記念産業祭・文化祭の同女性部のチャリティバザー益金です。
同女性部は、福島市在住のカンベンガ・マリールイズさんの趣旨に賛同して、マリールイズさん達が主宰する「ルワンダの教育を考える会」への協力も行ないました。紙上より厚く御礼申し上げます。

町教育振興のために



小野町物産市協議会の皆さん

12月2日、小野町物産市協議会の大衆哲男会長並びに渡辺直忠副会長より、未来を担う子供たちのために、平成17年10月9日の収穫祭において開催したチャリティバザーの益金を寄付いただきました。
寄付金については、小学校の備品の購入に役立させて頂きます。紙上より厚く御礼申し上げます。

民謡笙謡会 厚生労働大臣表彰



民謡笙謡会の皆さん

民謡笙謡会（佐藤笙謡会主・村山恭平会長）は、昭和52年より現在まで、年1回開催している「温習会」で地域のお年寄りに民謡・舞踊などでおもてなしを実施するほか、昭和57年からこまち荘に毎月の定期慰問や、昭和62年よりは、小野町社会福祉協議会に毎年多額の寄付を行っています。

このほどボランティア活動による地域づくりへの貢献が称えられ、厚生労働大臣表彰を受賞し、12月2日町長に報告されました。紙上よりご功績を称賛し、更なるご活躍をお祈りいたします。

延長保育を実施中です

中央さくら保育園

中央さくら保育園では、平成17年4月1日から延長保育を開始しました。保護者の就労時間、通勤時間などを考慮し、通常保育時間午前7時から午後6時以降の1時間を延長保育として、午後7時まで保育を実施しています。現在18名の園児が登録され、必要に応じて延長保育を受けています。



発表会の練習から

午後6時以降は、おやつを食べたり、絵本を見たり、パズルやブロック、ドミノなど好きな遊びをしながら過ごします。共働きの増加や就労形態の変化にともない、保育に対する保護者のニーズがますます多様化してくると考えております。

保育園では、安心してお子さんを預けられるよう育児と就労の支援をしていきます。

◎延長保育料

- 対象児童1歳以上
- 月額 2,500円
- 10日未満の利用
- 日額 200円

◆問い合わせ

中央さくら保育園

☎72-3269